

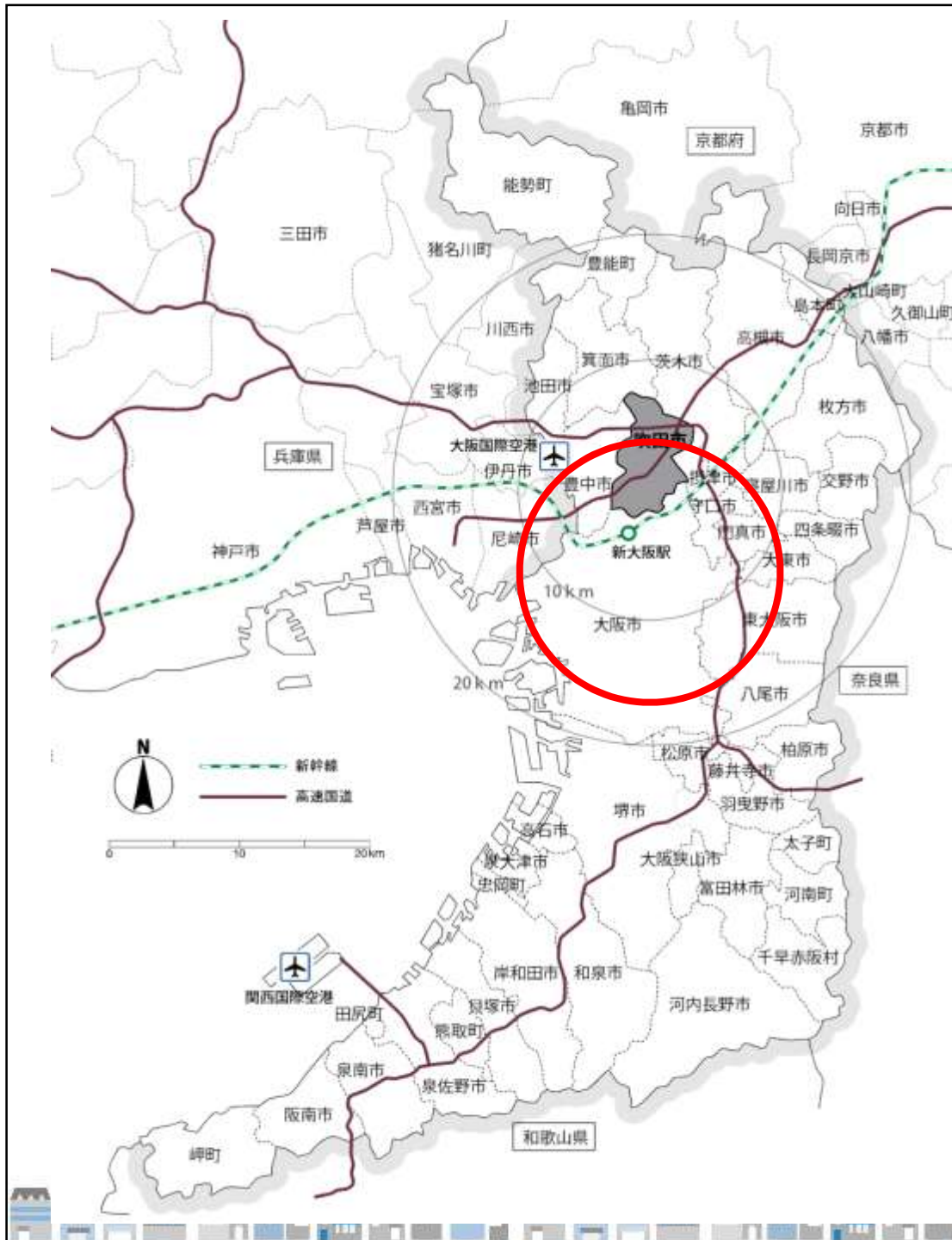
大阪府 吹田(すいた)市 フューチャー・デザインの 取組について

H31(2019)年1月27日

吹田市 環境部 環境政策室

楠本 直樹





- 面積 36.09km²

- 人口 約37万人

- 大阪の北部に位置
都心部へ
10km圏内

- 新大阪駅、
大阪国際空港などの
利用にも便利



-
- 1 FDの取組を実施できているのか。
 - 2 これまでのFDの取組
 - 3 FDの実践



1 FDの取組を実施できているのか。



suitable city

スイタブルシティ



平成30年(2018年)11月7日 シンポジウム



COiRE
平成30年度 公開シンポジウム

フューチャー・デザイン

— 持続可能な未来に向けて —

気候変動や資源エネルギー問題、政府債務問題やインフラの維持管理など、持続可能性に関わる諸課題は、中長期的な対応を要するまさに世代を超えた問題です。一方、近視性や将来に関する楽観性などといったヒトの特性や、現代のニーズを満たすうえでは有効であるものの将来世代の利益を反映する仕組みではない市場や民主制などの既存の社会システムの下では、世代を超えるこれらの問題に対処することが困難です。

このような世代を超える未来に関わる課題に対処し、持続可能な自然と社会を将来世代に引き継いでいくためのさまざまな社会の仕組みをデザインする新たな試みが「フューチャー・デザイン」です。現在、様々な専門分野の研究者や、市民、自治体や政府の政策担当者などの実務家も関わりながら、フューチャー・デザインに関わる研究や将来ビジョンづくり、政策応用などの実践が進んでいます。

本公開シンポジウムでは、フューチャー・デザインに関わる最新の研究成果やフューチャー・デザインの応用および実践について報告を行うとともに、研究者や一般の方々、産業界、自治体や政府などの公的機関の関係者の皆さまとともに、持続可能な社会のフューチャー・デザインについて考える機会とします。

平成30年 11月7日(水)
13:30~17:20
大阪大学吹田キャンパス 银杏会館
阪急電鉄三和銀行ホール
参加人数：200名

参加登録 お名前、ご所属を記載の上で、下記のメールアドレスまで参加希望の旨ご連絡ください
sympo@coire.eng.osaka-u.ac.jp



主催：大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター(COIRE) 共催：吹田市
日本学術会議経済学委員会・環境学委員会合同フューチャー・デザイン分科会



市長からの職員に向けてのメッセージ

「未来アセスメント」 平成27年12月3日 後藤 圭二

(略)

今後、特にまちづくりに関して、新規事業を立ち上げるとき、また、既存事業に変更を加えるときには、「時間」という要素を考える、**すなわち未来を可能な限り予測した上で最適解を見出すようにしなければなりません。**

将来の市民は、今の市政に意見することができません。だからこそ、今を生きる私たちが、あらゆる場面で**未来を予測し、将来の市民の声に耳を傾けなければならない**のです。こうした未来を読む行為を、私は「**未来アセスメント**」と名付け、仕事のあらゆるシーンに適用してほしいと願っています。

将来市民の声を聴く、「成熟社会」の基本理念はそこにあると考えています。



2 これまでのFDの取組



suitable city

スイタブルシティ



フューチャーデザイン・ワークショップの実験（第1回目）

平成27年（2015年）2月

「吹田フューチャーデザイン・ワークショップ」開催

平成28年（2016年）3月

「参加型フューチャーデザインに向けた制度・仕組みに関する研究会」

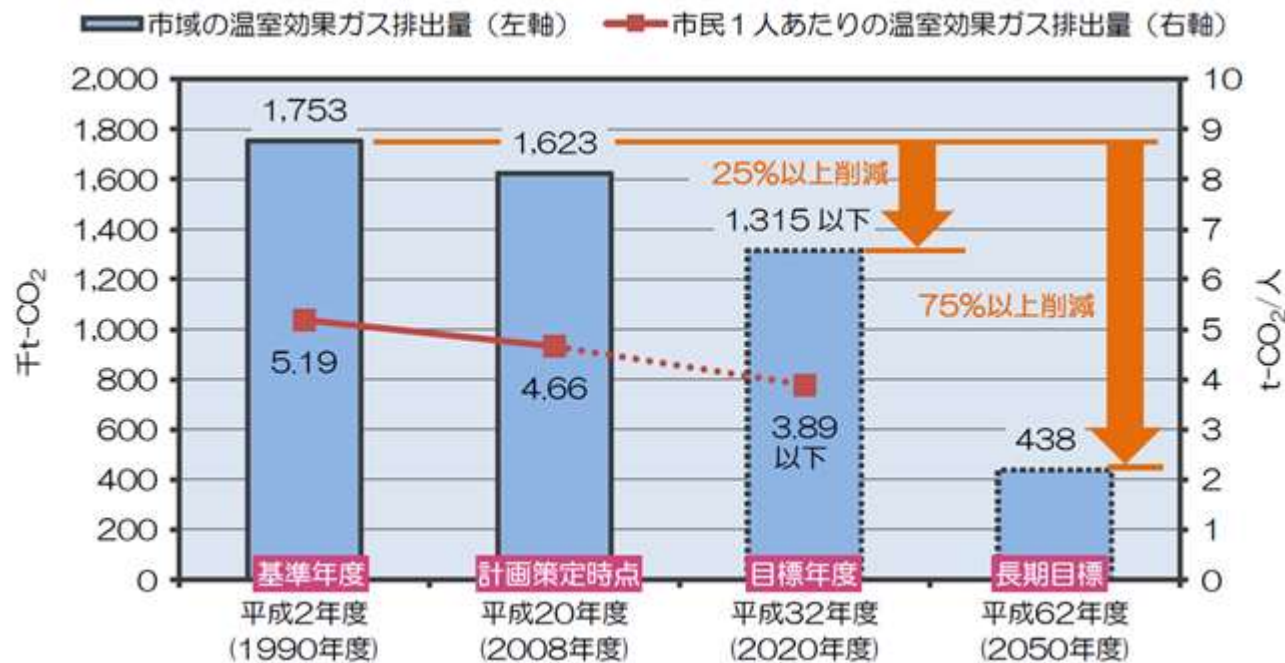




フューチャーデザイン・ワークショップの実験（第2回目）

・テーマ

「2050年吹田市のエネルギービジョン」



フューチャーデザイン・ワークショップの実施実験（第2回目）

- 平成28年12月～平成29年12月
全4回（12月、3月、9月、12月）
- 市民参加型
職員・職員の知人等 20名程度
- A～Dの4つに班分け
A、Bが将来世代 C、Dが現世代





①平成28年12月

- 2050年の吹田市エネルギービジョンに関するブレインストーミングの実施

②平成29年3月

- 研究者が作成したロジックツリーに対する加筆・修正
- **ビジョンのタイトルの決定**
- 今後5年で実施するべき施策の追加

③平成29年9月

- **ビジョンのストーリーラインの作成**

④平成29年12月

- ビジョンと現在をつなぐロードマップの作成
- 施策の優先順位の決定





タイトル	ストーリーライン
A. エコやね(屋根)、すいた	太陽光発電シートの普及率90%以上。壁面にも設置。電力関連の中心として吹田電力設立。
B. 環境エネルギー先進地域すいた: コストではなく投資	多様な価値観が認められ、従来の概念から解放された社会。 <u>将来への投資</u> として、環境技術を採用。 <u>電気代を上げることで電力使用量を強制的に減らす</u> 。
C. 市民が作るREすいた	個人単位での再エネ導入が盛んで、エネルギー自給率100%を目指す。産業部門のCO2排出量を減らすため、工場を市外に移転。
D. 星の見えるまち吹田: 個々から始まる地域のエネルギービジョン	賑やかなビジネス街と自然豊かな住宅街が共存。最新の技術を活かした省エネと、スローなライフスタイルでの節エネを実施。

A, B 仮想将来世代 C, D 現世代

資料 大阪大学工学研究科、東京大学工学系研究科との共同研究に基づく



フューチャーデザイン

環境政策室(☎6384・1782)☎6368・9900)

フューチャーデザインとは？

持続可能な社会の構築をめざし、将来世代の視点を取り入れながら社会の将来像を決める手法です。

例えば、将来設計をするとき、現在世代の目線で考えるグループと、仮想将来世代の目線で考えるグループで議論を行い、将来像を作り上げていきます。

吹田市は平成25年から大阪大学などと共同で、市の将来像の作成方法について研究しています。

未来のエネルギービジョンを考える

限りあるエネルギーをこれからも有効に使っていくため、平成28年よりフューチャーデザインの手法を用いて、市民参加型のワークショップを実施してきました。その結果、4つの「2050年吹田市エネルギービジョン」が誕生しました。



2050年吹田市エネルギービジョン

①エコやね(環境)。すいた

- ・高効率な自家発電用の太陽光発電シートの普及率90%以上。
- ・自治体出資型の小売電気事業者である吹田電力が設立され、電力の地産地消に寄与。



③市民が作るREすいた

- ・個人単位での再エネ技術の導入が盛んで、エネルギー自給率100%。
- ・工場の場所の見直しなど産業部門のCO₂(二酸化炭素)排出量を削減。



②環境エネルギー先進地域すいた～コストではなく投資

- ・将来への投資として環境技術を採用。
- ・電力量を抑えるため、電気料金を値上げ。



④星の見えるまち吹田～個々から始まる地域のエネルギーヴィジョン

- ・にぎやかなビジネス街と自然豊かな住宅街との共存。
- ・最新の技術を生かした省エネとスローなライフスタイルでの節エネを実施。

©大阪大学、東京大学、吹田市

一緒に未来を考えませんか

市は今後もフューチャーデザインに取り組み、市民、大阪大学などと将来設計手法の研究を進めていきます。

アンケートに協力

「2050年吹田市エネルギービジョン」について。7月1日(日)～31日(火)に市ホームページから回答できます。



環境政策室
ホームページ

ワークショップに参加しませんか

次回開催時に案内などを送ります。希望者はメールで環境政策室(env-seisaku@city.suita.osaka.jp)へ。

すいたの市報
(平成30年7月号)



suitable city

スイタブルシティ

3 FDの実践



sutable city

スイタブルシティ





- 2018年～2019年の2年間で作成予定
計画期間は2020年～2028年（9年間）
- アンケート調査を実施
 - ※ 計画の基礎調査のため（FDに関する項目も追加）
- 担当職員は**仮想将来行政職員**
- **FDワークショップ**を2019年3月～8月実施



スケジュール (案)

2019..2.19	環境審議会(2回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・現行計画の評価【報告】 ・計画の骨子案【諮問・審議】
2019.3	FDワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・FDのイントロダクション等 ・基本計画骨子案のFDアセス
2019..4	FDワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・計画素案 FDアセス
2019.5下旬	環境審議会(3回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画素案【審議】
2019.6	FDワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・計画素案 FDアセス
2019.8月上旬	環境審議会(4回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画素案【審議】
2019.8	FDワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案 FDアセス
2019.11下旬	環境審議会(5回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案【審議・答申】
2019.12	パブリックコメント	
2019.2月上旬	調整推進会議(6回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・答申・パブコメ【報告】
2019.2月上旬	政策会議	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の決定





- ・1回のワークショップ 計4回
3時間程度
- ・1チーム
(公募市民4名 行政1名
ファシリテーター1名)
計5チーム



ワークショップへの参加者の募集

本市では「フューチャーデザイン」（将来世代の視点を取り入れて、社会の将来像を決めるための手法）について大阪大学等と連携して調査・研究を実施しています。

今後のフューチャーデザインワークショップに参加してみたいという方は、11月16日までに、「氏名・住所・電話番号・Eメールアドレス」を記載の上、環境政策室（env-seisaku@city.suita.osaka.jp）までご連絡ください。

※ 席数に限りがございますので、必ずしもご希望に沿えない可能性がありますことをご了承ください。

HPはこちら！

http://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-kankyo/kankyoseisaku/energy/_91064.htm



東田市イメージキャラクター
すいたん





環境基本計画の基礎調査

- ・実施期間 平成30年10月
- ・対象 吹田市民
- ・配布数 2,000件
- ・回収数 732件 (回収率 36.6%)
- ・FDに関する項目
環境政策全般、エネルギー、ごみ問題等



9. 環境政策・環境問題全般における認識調査

【設問18】あなたにとって重要だと思われる、吹田市でこれから取り組むべき（あるいは解決すべき）環境政策・環境問題の課題を以下の選択項目から上位3つ順位を付けて選択して下さい。

※選択項目中で比較し、必ず3つお答え下さい

第1位 ()	第2位 ()	第3位 ()
---------	---------	---------

《選択項目》

- | | |
|------------------|----------------------|
| ① 水汚染対策・水質管理 | ⑪ 大気汚染 |
| ② 水資源の保全・確保 | ⑫ オゾン層破壊 |
| ③ 希少資源の確保 | ⑬ 騒音公害 |
| ④ 廃棄物処理・管理 | ⑭ 悪臭 |
| ⑤ 資源再利用・リサイクルの推進 | ⑮ 振動 |
| ⑥ 化学物質管理 | ⑯ 景観 |
| ⑦ 森林破壊 | ⑰ 土壌汚染 |
| ⑧ 地球温暖化・気候変動問題 | ⑱ (地下水の過剰取水による) 地盤沈下 |
| ⑨ エネルギー問題 | ⑲ ヒートアイランド |
| ⑩ 生物多様性の減少 | ⑳ 日照権の侵害 |



【設問19】 あなたは、2050～60年ごろの将来世代のことを考慮して（あるいはその将来世代の利益・声を代弁して）、吹田市の環境問題・環境政策について考える役割が与えられているとします。将来世代の立場から考えた時に、吹田市でこれから取り組むべき（あるいは解決すべき）環境政策・環境問題の課題を以下の選択項目から上位3つ順位を付けて選択して下さい。
 ※選択項目中で比較し、必ず3つお答え下さい

第1位 ()	第2位 ()	第3位 ()
---------------	---------------	---------------

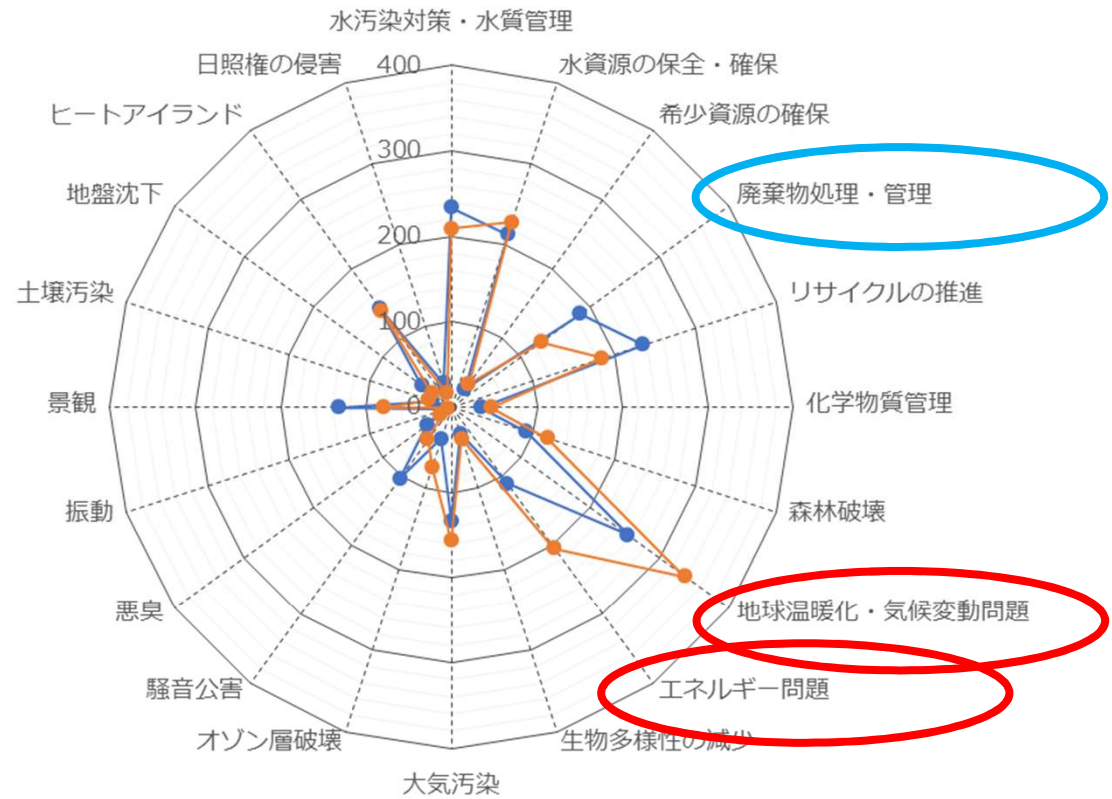
《選択項目》

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 水汚染対策・水質管理 ② 水資源の保全・確保 ③ 希少資源の確保 ④ 廃棄物処理・管理 ⑤ 資源再利用・リサイクルの推進 ⑥ 化学物質管理 ⑦ 森林破壊 ⑧ 地球温暖化・気候変動問題 ⑨ エネルギー問題 ⑩ 生物多様性の減少 | <ul style="list-style-type: none"> ⑪ 大気汚染 ⑫ オゾン層破壊 ⑬ 騒音公害 ⑭ 悪臭 ⑮ 振動 ⑯ 景観 ⑰ 土壌汚染 ⑱ (地下水の過剰取水による) 地盤沈下 ⑲ ヒートアイランド ⑳ 日照権の侵害 |
|---|--|



環境政策全般に関する調査結果

● あなたにとって重要な環境課題 ● 将来世代にとって重要な環境課題

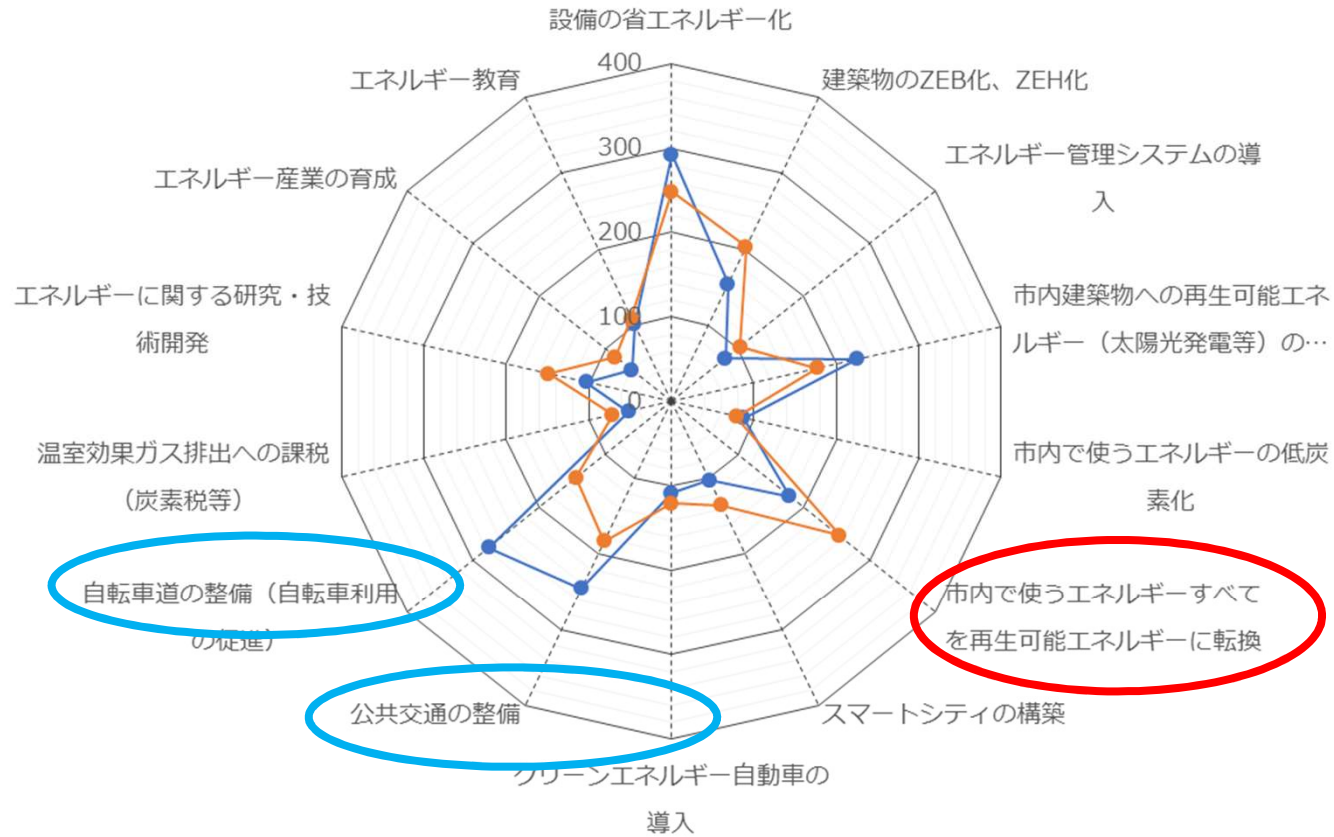


※ 数値は1位～3位の合計



エネルギーに関する調査結果

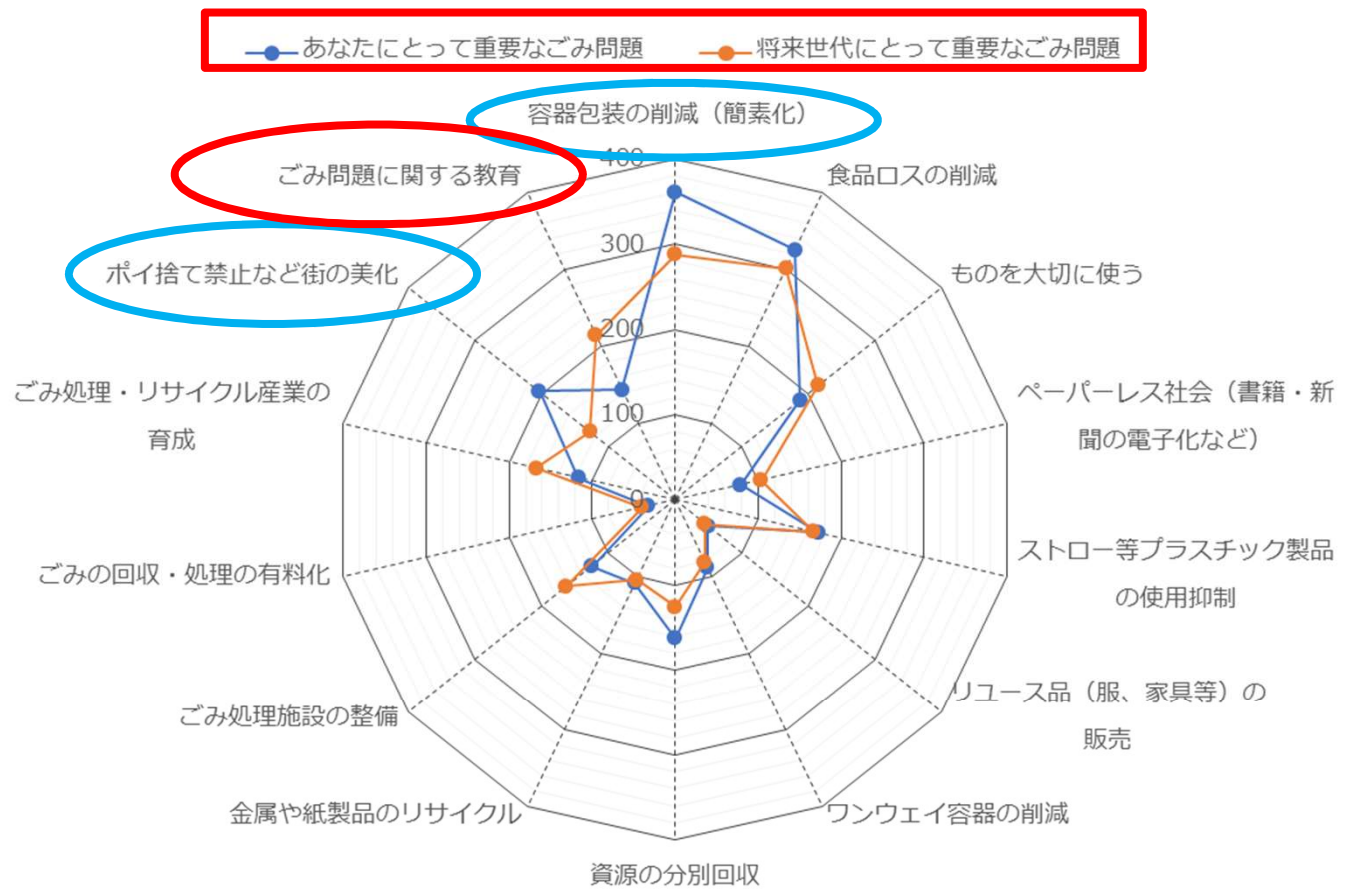
—あなたにとって重要なエネルギー問題— 将来世代にとって重要なエネルギー問題



※ 数値は1位～3位の合計



ごみ問題に関する調査結果



※ 数値は1位～3位の合計



まとめ（私見）



- ・アンケート調査の詳細分析を実施していく必要がある。
- ・FDのワークショップの実験結果からは仮想将来世代的な発想や幅広い意見が見られる。
- ・実験ではなく、実践としての行政計画を作成していく中で、FDを取り入れ、より良い計画にしていきたい。
- ・FDの知名度の向上はもとより、未来政策課（将来世代の行政職員）の設置につながるよう、FDの更なる研究を学識・市民・行政が協働して、知見を積み重ねていきたいと考えている。



ご清聴ありがとうございました。

吹田市 環境部 環境政策室

Tel : 06-6384-1701

E-mail : kusumoto339@city.suita.osaka.jp



suitable city
スイタブルシティ

